

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「自らの芸術祭」に向けた市民参加と協働促進プロジェクト
事業主体 (連絡先)	北アルプス国際芸術祭実行委員会 長野県大町市大町3887番地
事業区分	その他の地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	593,175 円 (うち支援金: 456,000 円)

事業内容

3年に1度開催する北アルプス国際芸術祭に向けて、市民等と地域課題を共有しながら、地域の魅力の再発見や郷土愛、市民意識の醸成を図った。

○「北アルプスまほろば塾」の開催

- ・第1回: 7月1日
大町市平公民館・女性未来館ピュア 71名参加
- ・第2回: 10月1日
大町温泉郷内旧「くろべ路」 40名参加
- ・第3回: 12月3日
ANA ホリデイ・インリゾートくろよん 139名参加
- ・ワークショップ制作作品の展示: 1月5日~1月18日
大町市役所 本庁舎 1階 市民ホール



【第3回北アルプスまほろば塾の様子】

事業効果

- ①「北アルプスまほろば塾」を開催したことにより、今まで関わることが少なかった様々な分野の客層まで北アルプス国際芸術祭についてを周知することができた。
- ②イベントや様々な情報発信により、ボランティアサポーター登録人数が増加し、ガイド希望者の応募もあった。
- ③第1回の北アルプスまほろば塾にて関わった市内の林業関係者が、芸術祭の作品公募へ応募するなどの成果もあり、魅力を再発見し、さらに芸術祭へとつなげることができたといえる。

【目標・ねらい】

- ①北アルプス国際芸術祭の周知
- ②サポーター活動やガイド希望者の増加
- ③地域課題の共有と学び

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・北アルプスまほろば塾開催以降ボランティアサポーターの登録者が40人増えた。
- ・10代から80代と幅広い年齢層、様々な分野の客層に芸術祭を周知することができた。

今後の取り組み

2024年3月には「北アルプスまほろば塾 特別版」として市民向け発表会の開催を予定している。北アルプス国際芸術祭総合ディレクターである北川フラム氏と芸術祭実行委員長を務める牛越徹市長が来年度行われる「北アルプス国際芸術祭 2024」の内容と魅力について紹介する。

芸術祭会期中は、通常の鑑賞ツアーに加えて、市内の小中学生が芸術を中心に市の歴史や文化等、様々な分野を学ぶスタディツアーを行い、更に幅広い年齢層の芸術に対する理解を深めていく。また、作品制作にあたり、ボランティアサポーターだけでなく、小中学生や高校生、地元企業へ丁寧に説明を行いながら、地域全体での協働により作品制作を進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある